

総務
文教厚生
産業建設

委員会NEWS

平成19年度

一般会計補正予算

総務関係

●主たる事業

- △防災行政無線整備事業
- △自主防災組織結成支援事業

- △障害者自立支援法に伴うシステム整備事業
- △地域新エネルギー・省エネルギービジョン策定事業

●審査内容の主なもの

問 昨年に引き続き実施する地域省エネルギービジョンの実効性は。

答 庁舎・体育館・福祉センター・文化センターを対象に可能性を検討する。先進事例では電

気代が20%削減できた事例もあり、十分期待できます。

問 防災行政無線整備事業の内容は。

業の内容は。

答 現在の無線は昭和61年に導入し、20年以上使用して経年劣化しているため、設備を更新すると共に通信方法をデジタルに変更します。

問 防災行政無線整備にあたっては、デジタルの利点を十分検討して住民サービス向上に努めると共に、難聴地域がないよう留意してもらいたい。

答 十分配慮します。

問 自主防災組織の結成状況と今後の計画は。

答 今年4月1日時点で10地区に結成され、今年度更に7地区の結成を目標にしています。



文教厚生関係

●主たる事業

- △坊ちゃん劇場公演観劇事業
- △学校施設耐震事業 (松前中体育館)

- △一般高齢者介護予防事業
- △特定高齢者介護予防事業

●審査内容の主なもの

問 小、中学校の危険遊具の撤去費用以外に新設費用の予算計上が必要ではないのか。

答 遊具の新設の予算については、新設の必要のない遊具もあるため今回は予算計上していないが、今後、学校の要望等を考慮して計画的に予算計上します。